

科目名	臨床微生物学Ⅱ (Clinical Microbiology Ⅱ)			科目コード	426
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (15時間)
科目区分	専門科目	履修時期	2 年次後期	関連DP	臨②③④
担当教員	北尾 孝司				
授業概要	微生物学で学んだ知識を基にウイルスの特徴や病原性および検査方法について教授する。感染症法に定められている微生物について教授する。				
授業目標	微生物学で学んだ知識を基にウイルスの特徴や病原性について理解する。またウイルスの検査方法について、検体の取扱法、検体中のウイルス分離・検出法、血清学的検査法および遺伝子検査法について学ぶ。さらにウイルスなどの微生物に関する感染症法について学ぶ。				

授業計画

回	項目	内容
1	感染症法	感染症法ができた経緯について 感染症法および感染症法の分類と微生物について
2	ウイルス学総論 (1)	ウイルスとは、ウイルスによる感染症、ウイルスの構造と分類、ウイルスの増殖
3	ウイルス学総論 (2)	ウイルスの感染様式と伝播、ウイルスの不活化、 ウイルス感染症の予防と治療
4	ウイルス検査法	ウイルス分離・検出法、血清学的検査法、遺伝子検査法 ウイルス検査検体の採取法
5	DNAウイルス	ポックスウイルス、ヘルペスウイルス、アデノウイルス、 パピローマ・ポリオーマウイルス、パルボウイルス
6	RNAウイルス (1)	オルトミクソウイルス、パラミクソウイルス、トガウイルス、フラビ ウイルス
7	RNAウイルス (2)	フィロウイルス、アレナウイルス、コロナウイルス、 ピコルナウイルス、レオウイルス、ラプトウイルス、
8	RNAウイルス (3)	レトロウイルス、肝炎ウイルス、下痢症をきたすウイルス
成績評価方法	筆記試験 (100%) で評価する。	
教科書	松本哲哉ほか「最新 臨床検査学講座 臨床微生物学」(医歯薬出版)	
参考図書等	中込 治/神谷 茂ほか 「標準微生物学 第12版」 (医学書院)	
授業時間外の学習について	前回の項目について配布プリント及び教科書等を参考に復習する。次回の項目について教科書等を参考に予習する。	
関連科目	424 微生物学、427 微生物学実習、426 臨床微生物学Ⅱ、428 臨床微生物学実習、442 院内感染管理学、447 医学検査診断学Ⅰ、444 臨地実習Ⅰ、445 臨地実習Ⅱ、446 臨地実習Ⅲ	
備考	実 北尾：臨床検査技師 (検査機関)	

(24カリ) 臨床検査学科